

子どもと保護者と指導員でつくる 大阪学童保育研究集会

第1回実行委員会
ニュース(2016.1.28)
こんな分科会あったらええなあ

子どものタイミングって？

指導員や大人が何でもやり過ぎて、子どもたちの発想を制限してしまっていない？かと言って見守るだけじゃ良くないし。子どもたちを子どもたち自身の活動や生活に導くって難しい。子どもの発達も含めて勉強したい。(指導員)

保護者として指導員を支えたい！

学童保育にお世話になって、僕は保護者として指導員の先生の仕事ってスゴイ仕事やと思うんやけど…辞めてしまう人が多いのも現実。『誇りを持って学童の指導員ってこんなに良い仕事や』と話し合える場があってもいいんちゃうかな～(保護者)

高学年もいっしょに！

新制度施行で高学年の受け入れが始まる中でぶつかる壁について。学んで、いっしょに考えたい。高学年だからこそその居場所、ほっとする場が学童にいるだろう。性についての学習も必要だ。学びたいことは盛り沢山！(指導員)

子育ての応援してくれるような話聞きたい！

世の中、勉強勉強…ホンマにこれでいいんやろか…。スマホは持たせた方がいいんかな？難しい時代。私たち保護者は何したらいいんやろう。悩みながらやけど、明日からまた元気が出るようなお話が聞きたいなあ～(保護者)

ヨガやあそびでリフレッシュ！

全体会の講義でしっかり学び、分科会でリフレッシュ。心も体も大切に！明日からまたがんばろう！というような学びのエッセンスも入った分科会がほしい。(保護者)

参加者の声

障害のある子ども理解

全国研の保育担当をして思いました。障がいをもつ子どもの保護者は不安感や様々な悩みを抱えていることと、同時にまわりの子どもや保護者の理解も必要だと。いっしょに学んで理解を深めることが大事だと思う。(指導員)



おおさかけん

だい48かい

はじまる

6月26日(日)予定

場所未定
さがしちゅ～

第1回目の大阪研実行委員会が開催されました。分科会について出しました。保護者と指導員が同じ話をいっしょに聞き、集会の後子どもたちの顔を描きながら「ああだ」「こうだ」って話あえるのが研究集会の大きな魅力のひとつですね。これから実行委員会での取り組みについて話し合っていきますので、ぜひご参加ください。

実行委員会は毎月第2水曜日 19:30～保育運動センター (2/10・3/9・4/13・5/11・6/8)